

平成30年度女性消防団員活性化研修会 グループディスカッション

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

1 ねらい

地域の課題に応じた女性消防団員ならではの活動について、意見交換を行い、女性消防団員活動の意義や役割への理解をさらに深め、今後の女性消防団における活動の活性化に活かす。

2 事前調査結果（概要）

(1) 女性消防団員が地域で担っている取り組み例

- ・ 広報活動、防火指導（高齢者宅、幼稚園など）
- ・ 災害時の女性や子ども、高齢者への対応
- ・ 啓発劇、広報劇
- ・ 市民救命士の普及、救急講習、AED講習
- ・ 避難所運営訓練（HUG）、研修
- ・ 小学生防災キャンプで啓発 等



(2) 主な課題

①地域の課題

- ・ 地域住民の災害に対する危機感が低い。
- ・ 高齢者増加により迅速な避難が難しい。
- ・ 地域コミュニティが希薄になっている。消防団が再生を図る必要がある。
- ・ 一人暮らしのお年寄りなどの住民の情報不足
- ・ 民生委員や防災コミュニティとの情報交換が個人情報関係で難しい。
- ・ 避難所の運営や支援方法が明確ではない。

②団員の課題

- ・ 平日に活動できる人が少ない。女性団員が減り活動の負担が増えてきた。
- ・ 女性団員が各分団付きなので、集まって活動する機会がない。
- ・ 女性団員の役割・活動が明確になっていない。男女を区別して活動はしていない。
- ・ 本部付なので、地域での役割はない 等。



テーマ 1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(1) 班

【まとめ】

<p>1</p>	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none">・避難所対応 女性は、気遣い（女性ならではの問題対応、子供をあやすなど）が出来る。同じ言葉でも表情や言葉遣いで、男性と女性では伝わり方が違う。AED が必要な方や救助が必要な方への配慮。地域との繋がりや情報が得やすい。
<p>2</p>	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・女性の市議会議員や市の職員と消防が繋がることで災害時などの連携がスムーズになる。・地域の方にも防災の意識をしてもらうため、子供が小さい頃から意識付けを行う。・母子共に講習を受けることにより、子供をどう守るかの意識づけを行う。

テーマ 1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(2) 班

【まとめ】

<p>1</p>	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none">・AED 講習（話しかけやすい）・避難所対応
<p>2</p>	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・避難所運営を想定した女性消防団員の訓練開催

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(3) 班

【まとめ】

1	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な部分みなさんに周知していただくための取り組みが主なものとして意見が多い。広報、啓発。 ・ 障害者や子供連れを対象の防災訓練などは、きめ細やかな女性目線で活動しやすい。
2	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団員の増員 ・ 団付けの女性団員は本部付け同様、広報や啓発活動をするために横との連携を深める。 ・ 本部づけは、男性中心の地域分団や地域の他の活動団体との連携を深める。 ・ 連携することで、地域に貢献できる活動に繋がっていく。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(4) 班

【まとめ】

1	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<p>①「女性ならではの」という表現がそもそも良くない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性と一緒に活動をしている人もいる(意識の違い)。 ・ 広報活動の取り組み。(広報として入団した人もいる) <p>②女性だから良かった経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦さん等への対応。 ・ 災害時に「言いやすい、聞きやすい」と思って貰える。 ・ パイプ役になれる。
2	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女に差を付けず、活動していくべき。 ・ 市及び分団等によって活動に差がありすぎる。 ・ 消防団手帳を持たせて欲しい。 ・ 災害時の現場体験がほぼ無いのもっと経験が必要。 ☆活動の幅を団員に選択させてもらえると良い(現場班、広報班等、役割を分ける等) ☆「女性」という一括りにするのではなく役割を分ける。 ※個性、意向

テーマ 1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

(5) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭に参加（広報活動）。 ・出初式等、消防行事でのアナウンス、お手伝い。 ・応急手当普及啓発活動 ・防火パトロール（乾燥時期、年末警戒等）
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ・勧誘。 ・SNS 等での発信。 ・各分団の女性団員での活動。 ・地域によって活動が違うので、他市でも取り入れたい。

テーマ 1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

(6) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	良さを伝える活動として 「女性だからできる活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ CPR 講習時には、女性だと聞きやすいと言われた。 ・ 男性には聞きにくい質問が聞きやすい。 ・ 場が和む、親しみやすい。 ・ 保育園、小学校等の施設での紙芝居。 ・ 子供の帰宅時にあわせて、生の女性の声で火災予防週間時に広報活動。（駅で制服を着て立つ） ・ ティッシュ配りをして広報している。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない人数で誰でもできる活動を考えていく必要がある。 ※定員などや育児、家事の負担が多いので。 ・ 横の市の女性消防団との繋がりを大事にして情報交換をする。

テーマ1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

(7) 班

【まとめ】

1	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園や小学校で救急救命講習。(AED等) ・ 歌に合わせて、火災予防などを呼びかける。 (子どもや高齢者に覚えてもらいやすいのでは。) ・ 各地区の行事に出席し、呼びかける。 ・ 野焼き注意呼びかけを、野焼きのシーズン前後に呼びかけ。 ・ 広報活動。 <p>☆「女性ならではの」は、老若男女問わず、親しみやすさ。</p>
2	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性消防団の存在を知って貰う。 ・ 活動内容を知って貰う。 ・ 依頼をいただけるくらい、周囲に女性消防団の活動を理解してもらおうべき。

テーマ1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

() 班

【まとめ】

1	<p>地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のよさを活かす。 <p>コミュニケーション力を活かした広報活動、小、中、高校に市民救命士講習に行く(平日なので、男性は行けない)。 幼稚園、保育園、小学校へ防災指導に行く。</p>
2	<p>1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇を行う。 (AEDの使い方、年齢に合った話にする。4, 5のストーリーを用意している。) ・ 消防団の活動を新聞にする。 ・ 紙芝居をする。 ・ 地域の茶話会や近所の方との世間話。

テーマ 1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

(9) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月一回定例会。 ・ ショッピングモールや学校へ啓発活動。 ・ デリケートな部分を男性に代わり説明する。 ・ 小学生キャンプ（段ボールテント） ・ 女性団員を増やす宣伝（イベントやお祭りの補助）。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生キャンプの炊き出しを乾パン等に。 ・ HUG ゲームを取り入れる。 ・ 高齢者の防火訓練。 ・ 女性団員の定員を増やす。 ・ 日中動ける方を消防団へ。

テーマ 1**「地域に貢献する女性消防団の活動」**

(10) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団に女性の団があることについて認知が少ない。 ・ まだ女性団としての活動は行えていない。 ・ 女性団としての活動はするが、男性団員と同じような活動をしていなくても良いと言われるが、実際はどうしてよいのか分からない。 ・ 盆踊りでの子ども向けに紙芝居、クイズを行った。 ・ 女性団だからというのをなくす、女性の中でも消火活動もしたい人がいる。(線引きをしない。)
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設などで声かけPR、チラシを置かせてもらう。市の広報に出す。パネルを置かせてもらう。 ・ 色々な意見を聞いてできることをする。 ・ 他団と繋がりをつくり、一緒に活動したりする許可が欲しい(他の活動を取り入れ共有、連携したい)。 ・ 女性ならではの広報活動もするが、消火活動、災害の時の手助けを行いたい人もいるので、それも認めてほしい。

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」



1 ねらい

女性消防団員確保に関する活動PRや団員勧誘などの様々な方法について意見交換することにより女性消防団員確保方法の全体を把握し、今後の効果的な団員確保の取り組みに活かしていく。

2 事前調査結果（概要）

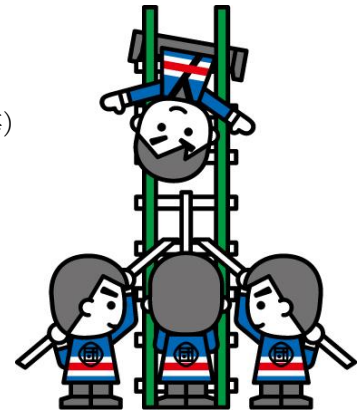
（1）女性団員確保の取り組み例

①市民へのPR

- ・市町、地域のイベント、防災訓練での啓発・PR。
（消防クイズ、紙芝居、劇、啓発グッズ配布、募集のノボリ等）
- ・SNS等の活用による活動状況の発信。
- ・市広報誌やHPの掲載。
- ・バス停や駅でのポスター掲示 等

②勧誘

- ・大学への女子学生の入団依頼。
- ・女性団員の知人を直接勧誘する。
- ・「あなたにもお手伝いいただきたい、女性消防団員募集」を全面に打ち出している。
- ・女性消防団発足時にチラシ全戸配布。



（2）女性団員確保の課題

- ・大学生を勧誘しているが、長期活動が難しい（卒業後退団の可能性）。
- ・広報誌掲載やポスターだけの勧誘では効果が薄い。
- ・入団することによるメリットが無い。
- ・定数枠が決まっている。
- ・欠員が出た時の不定期な募集になるため応募しにくい環境である。
- ・家庭が優先で活動しにくい。
- ・地域で女性消防団員の活動内容を理解している人が少ない。
- ・女性団員が集まる機会が少ない。
- ・女性団員ができることや女性団員しかできないことの明確化 等



テーマ 2**「女性消防団員確保の効果的な取り組み」**

(1) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<p>☆家族を守る為</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症や台風などのシーズンに合わせて、身近に防災の必要のある時に教育委員会などを通しての有効的発信。 <p>☆企業の必要性、安全性を守る為</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起こった場合の対応の為の入団をすすめる。 <p>☆入団のハードルを下げての PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日別、時間別の参加などの提案。 <p>☆体感型の防災イベント参加などからの身近に感じていただく事によるアピール。</p>
-------------------	---

テーマ 2**「女性消防団員確保の効果的な取り組み」**

(2) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・町単位での防災訓練でアピール。 ・男性団員からも声かけを。 ・特典が欲しい。 ・NHK ニュース 645、845 で PR 広報。 ・消防団長から家庭訪問。 ・子どもから家族に伝える知識がつく。
-------------------	---

テーマ 2**「女性消防団員確保の効果的な取り組み」**

(3) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団員がいるということ、こんな活動をしているということを PR し、まず興味を持って貰う。 ・大学生団員を短期的に考えるのではなく、卒業後も地元や他の地域で入団してもらえるように、消防団活動において特別視しない、「良い活動」だと思ってもらう→就職活動のためだけではない。
-------------------	--

テーマ 2**「女性消防団員確保の効果的な取り組み」**

(4) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 消防の広報車で火災予防などと一緒に入団を呼びかける。・ 地域イベント会場で消防のブースを設けてアピールする。・ 広報誌で PR。・ メリットや活動内容を具体的に示して興味や関心を持ってもらえるような場を作る。・ 活動内容を明確にする。・ 活動を充実させて、団員を楽しませる。
-------------------	--

テーマ 2**「女性消防団員確保の効果的な取り組み」**

(5) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 勧誘（友達の友達のつながり）。・ SNS 等での発信。・ 地域の人に女性消防団員がいる事を知って貰う。・ 広報車での火災予防パトロール。・ 女性消防団員同士の交流をする。・ 各市内のイベント、まつりへの参加により、女性消防団員のいる事をまず知っていただく。・ 広報活動や救急救命講習会に参加する事で声がけしている。PTA お母様への声がけ。・ 活動の内容を SNS の活用を考え少し進めていっている。・ 広報活動、女性の声でアナウンスが流れるのも一つの PR になると考えている。
-------------------	--

テーマ 2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(6) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 女性団員の認知度をあげる。・ 女性団員の活動を市民に知ってもらう。・ 活動服を着てイベントに出る。市民のみえる場で伝える。・ 女性団員が楽しく活動を行う。・ ティッシュ、チラシを配る。・ SNS での情報拡散。・ 広報誌、新聞（マスコミに取材してもらう）。・ 市民間の横のつながりを大切に、情報交換し、よりよい活動ができればと思う。
-------------------	---

テーマ 2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(7) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 一人一人に（知り合いに声かけ）。・ 役割や活動を明確にし、入団した後の活動内容を相手に伝える（知って貰う）。・ 県で課題が違いすぎる。地域差をなくす。
-------------------	---

テーマ 2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(8) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 団員になったら就職に有利。・ ママさんバレーなど、スポーツ系の団体へ入団 PR する。・ 献血スペースにポスターやパンフを置く。・ 病院の待合室にポスターやパンフを置く。（小児科等）・ シニア世代へ声かけ。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(9) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌、ホームページ、勧誘・ お祭りなどの行事で声かけ、地元の大きいスーパーなどでも。・ キャンギャルから始める。・ お友達からの紹介、推薦。・ 夫婦、親子、姉妹。・ ポケットティッシュにチラシ。・ 折り紙で消防車を作って配布。・ 親へのパンフ配布。・ ママさんバレーボール大会で、制服、活動服を着て PR。・ 団員になった際のメリットを伝える。・ 消防団員カード。・ 増やしたいけど定員があって増やせない。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(10) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ チラシなどスポーツジム、会館などに置かせてもらう。・ 地域イベントに参加して PR。その時にチラシを配り声かけをする。・ お祭りで劇や紙芝居、防災ダックをして消防団 PR、チラシ配り。・ 自分の分団のアピールができるようにする。分団の強みを作り入りたいと思ってもらえるようにする。・ ママ友、野球少年団卒後の保護者を勧誘する。・ 体験入団があれば入りやすいかもしれない。 <p>※【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大学生が入団しても卒業したら退団。戻った土地で消防団に入団してくれたら良いが、定着率が悪い。・ 長期活動が負担になっている。
-------------------	---